

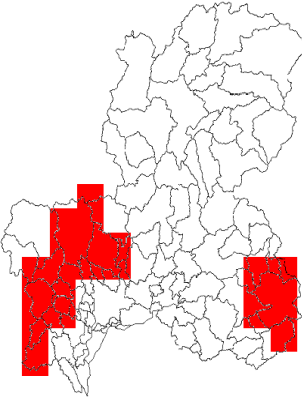


ギンバイソウ	<i>Deinanthe bifida</i> Maxim.	準絶滅危惧
		ユキノシタ科
選定理由	分布域の一部において生育条件が悪化しており、種の存続への圧迫が強まっていると判断される。	写真(岐阜県博物館) 標本
形態の特徴	高さ70cmになる木質の地下茎がある多年草。直立する茎の頂に10数花からなる白色集散花序をつくる。白色5弁で梅花状の両性花と、その周囲に2-3個の白~淡紅色で卵形萼(がく)片をつける装飾花がある。やや薄い柄のある葉は対生し、鋸歯があって通常先端が2浅裂する。	 
生態的特徴	日本固有種。山地にある溪谷林下の陰地や沢沿いに生育し、開花前の花序は球状。6月下旬-8月に開花する。	
分布状況	本州(関東以西)、四国、九州に分布する。岐阜県においては美濃地方の西部および東部に見られる。	
減少要因	生育地が分断され、生育面積が狭く個体群も極めて小さいため、環境の変化に影響を受けやすい。森林の伐採や林道工事などによる生育環境の変化が主な要因である。	
保全対策	直射日光や土壌の乾燥を避け、樹林を含めた生育地の保全をする。	
特記事項		
参考文献	山中二男(1978)高知県の植生と植物相: p.271. 林野弘済会高知支部 佐竹義輔他編集(1982)日本の野生植物 草本Ⅱ離弁花類: p.155-156. 平凡社 大井次三郎(1983)新日本植物誌顕花編: p.809. 至文堂	

文責:後藤常明